

フルートとチェンバロ バロックから現代まで

RISONANZA 2025

フルート／段田尚子
チェンバロ／加久間朋子



RISONANZA リゾナンツァ

フルートの段田尚子とチェンバロの加久間朋子が2019年の共演を機に結成したユニット名。『RISONANZA』とはイタリア語で共振を意味する。この2つの楽器から生まれる響きの可能性、多様性を探求し、演奏会ではバロックから現代までの作品を取り上げ活動をしている。



2025年11月30日（日）

13:30 開場 14:00 開演

松本記念音楽迎賓館 A ホール

東京都世田谷区岡本 2-32-15

チケット 前売り 3,500 円 当日 4,000 円 ペア券 6,700 円

主催 RISONANZA

チケット申込み・問合せ

入力フォーム <https://forms.gle/ibhf2uh995o1J2PTA>

e-mail risonanzachambermusic2@gmail.com

Tel 09081032903 (リゾナンツァ事務局)



フルートとチェンバロ バロックから現代まで

RISONANZA 2025 11月30日(日)
13:30 開場 14:00 開演

【演奏予定曲】

- L. ヴィンチ 1690 - 1730: 『12のフルートと通奏低音のためのソナタ』より 第1番 二長調
G. サンマルティーニ 1695 - 1724: 『12のフルートと通奏低音のためのソナタ』より 第1番 ト長調
ジュゼッペ・サルティ 1729 - 1802: 『ヴァイオリンまたはフルートを伴う3つのチェンバロのためのソナタ』より 第1番 二長調
D. スカルラッティ 1685 - 1757: ソナタ(チェンバロソロ)
L. ボッケリーニ 1743 - 1805: 序奏とファンダンゴ
N. ロータ 1911-1979: フルードとピアノのための5つの簡単な小品
V. パレルモ 1967 - : 『レントァティーヴォとシビュラ(ギリシャ神話の巫女)の預言』(フルードソロ)
V. パレルモ 1967 - : 『秋のリゾナンツァ』フルードとチェンバロのためのポエム(世界初演)

【演奏者プロフィール】

段田尚子 タンダ ナオコ TANDA Naoko (フルード)

ニューヨーク州の小学校でフルードを始める。上野学園大学卒業。在学中米国コロラド州アスペン音楽祭に奨学金を得て参加。桃華楽堂御前演奏に出演。ミラノ市立音楽院ポストディプロマコース修了。長年上野学園大学及び上野学園中学校・高等学校で講師を務めた。故野口龍氏、ラファエレ・トレビザーニ氏、その他内外の多くの師から学ぶ。「SOAVEフルード音楽教室」主宰。演奏する身体を科学的なアプローチで教育する、理学療法士とのハイブリッドレッスン「フルード奏者のためのボディ・チューニングレッスン」を開講。教え子には多数のコンクール上位入賞者、演奏家、指導者などいる。

加久間朋子 カクマトモコ KAKUMA Tomoko (チェンバロ)

洗足学園大学音楽学部卒業。在学時より古楽研究会Origo et Practicaにてチェンバロ奏法、通奏低音奏法を故鍋島元子のもとで研鑽。ミラノ音楽院にて、故E. ファディーニのマスタークラスを修了。イタリア、ドイツ、アメリカでソロ及びアンサンブル公演。5人のユニット「アンサンブル音楽三昧」で'08年CD「音楽三昧//バッハ ファンタジーとフーガ」が第7回サライCD/DVD部門大賞受賞。2016年まで鍋島の遺志を引き継ぎ、古楽研究会Origo et Practica代表を務めた。現在、ヴァイオリン奏者・川原千真と『レクレール ヴァイオリンソナタ全曲演奏会』を継続中。日本チェンバロ協会会員、ギターラ社東京古典楽器センター講師、相模原音楽家連盟会員。

【会場】

松本記念音楽迎賓館 Aホール (詳しいアクセスは http://onqakuqeiinkan.jp/access/bus_train.html)



松本記念音楽迎賓館

- 東急線「二子玉川」駅(東口4番のりば)
東急バス [玉31]「成城学園前駅」行き または「成育医療研究センター・美術館」行き
所要時間 15~20分
 - 小田急線「成城学園前」駅(南口2番のりば)
東急バス [玉31]「二子玉川駅」行き
所要時間 15~20分
- バス停「岡本三丁目」下車徒歩5分
※[玉07]系統の「成城学園前駅西口」行き、「二子玉川」行きはバス停「岡本三丁目」を通りませんので、ご注意ください。
住所: 東京都世田谷区岡本2-32-15
電話: 03-3709-5951



チラシ表面の作品: Hossein Golba『愛の泉』